

みらいのとびら

令和5年5月1日発行 第68号



特集

ALT (外国語指導助手)

Contents

特 集	P 2
一般質問	P 10



ALT(外国語指導助手)

市議会

現在（令和4年度）、つくばみらい市立小中学校には、ALTの先生方が合計16人派遣されています。内訳は、伊奈中学校2人、伊奈東中学校1人、谷和原中学校2人、小絹中学校2人で、中学校全体で合計7人です。小学校へは合計9人



研修会の様子

ALTのメアリー先生は週1回、谷和原幼稚園で園児たちに英語を教えています。



が派遣されています。
 各校の英語担当教員とタイアップして、子どもたちの英語力向上のために全力を尽くされています。
 また、市教育委員会では、令和5年度から公立幼稚園3園にALTの先生を常時派遣することになりました。
 今回は、毎月1回行っている研修会と、谷和原幼稚園で毎週行われている幼児への英語教育の現場を見学してきました。



メアリー先生の授業風景

手遊び歌やアクションのまねっこ遊びの中で、子どもたちは自然に英単語を覚えていきます。声を出しながら同じ動きを何度も何度も繰り返し、楽しくて楽しくて仕方ない、というような活動を見ることができました。

ベテランのカール先生に聞きました

Q 授業の中で、日本語での通訳はありますか。

A 授業は、オールイングリッシュです。簡単な単語で通じます。

Q 英語が嫌いな子はいますか。

A 文法ばかりの授業だと苦手な子も出てきますが、そのような子には廊下で声をかけたり、コミュニケーションをとって自分を好きになってもらいます。

どの子も、ALTの先生とコミュニケーションをとることが大好きです。

Q 苦労されたことはありますか。

A 苦労とは思っていません。ALTの授業の方が、張り切っているという子もいます。



カール先生

ありがとうございました。
カール先生はイギリス出身で、日本に17年も住んでいらっしやり、ALT経験も豊富な方です。
現在は、市内の中学校で英語の授業に携わっています。

楽しい雰囲気幼稚園児が生き生きと活動していました。終わった後、メアリー先生にハイタッチする子どもたちがたくさんいました。
本日はお忙しい中、取材にご協力いただきましてありがとうございます。

(取材者 間宮美知子・岡本昌弘)

つくばみらい市の こんなことが決まりました

第1回臨時会 2月9日 (1日)

第1回定例会 2月27日～3月20日

(22日間)

議案審議

●第1回臨時会で審議した案件

市長提出案件

2件

計2件

●第1回定例会で審議した案件

市長提出案件

30件

議員提出案件

2件

陳情

1件

計33件



ここに注目



令和5年度予算を審査しました
一般会計予算は249億9,660万円
(前年比0.2%増)

今定例会において予算特別委員会を設置し、委員会に付託された議案第23号から議案第28号までの6議案について、3月10日、14日及び15日の3日間にわたり審査を行い、全ての議案を原案どおり可決しました。

会計別の予算額

会計名		令和5年度の 当初予算額	前年度との 比較増減率
一般会計		249億9,660万円	0.2%
特別会計	国民健康保険特別会計	48億2,998万7,000円	10.4%
	後期高齢者医療特別会計	7億3,054万2,000円	10.1%
	介護保険特別会計	37億296万7,000円	0.2%
水道事業会計	水道事業収益(収入)	16億4,145万1,000円	2.0%
	水道事業費用(支出)	15億5,385万6,000円	2.5%
	資本的収入	8億278万7,000円	27.6%
	資本的支出	13億5,192万9,000円	15.5%
下水道事業会計	下水道事業収益(収入)	18億7,938万7,000円	0.0%
	下水道事業費用(支出)	16億367万7,000円	3.1%
	資本的収入	10億8,499万5,000円	64.9%
	資本的支出	15億500万8,000円	39.6%

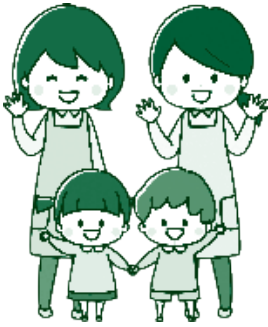
※当初予算額については、水道事業会計及び下水道事業会計以外は歳入・歳出予算とも同額となります。

Pick up1

「保育士の配置基準の見直しを国に求める意見書」を全員賛成で可決しました

つくばみらい市議会は、令和5年第1回定例会において、「保育士の配置基準の見直しを国に求める意見書」を全員賛成で可決しました。

また、衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣及び内閣府特命担当大臣（少子化対策）に意見書を提出しました。



保育士の配置基準の見直しを国に求める意見書

急速な少子化が進む中、安心して子どもを産み育てることのできる社会を実現するためには、子どもの健やかな成長を支える質の高い保育サービスの提供と保育の担い手の確保が重要である。

現在、全国の保育現場では、日々、未来を担う子どもの健やかな成長を願い、それぞれの保育士は懸命に取り組んでいる。また、通常業務に加えて、新型コロナウイルス感染症予防に努めるべく、保育現場では徹底した衛生管理業務が常態化している。このような過重な労働環境の下で、早期離職者が出るなど、保育士の確保と定着が喫緊の課題となっている。

こうした状況の中、国の保育士の配置基準は保育士1人に対し0歳児は子ども3人、1歳児と2歳児は6人、3歳児は20人、4歳児と5歳児は30人とされているが、多様な保育ニーズへの対応や安全に目を配ることさえも難しくなっている。公立、私立を問わず、実際には独自に上乗せ配置で窮状を乗り切っている保育現場は少なくない。このようなことでは保育士の処遇改善は進みません。

今まで以上に保育士が子どもや保護者と丁寧に関わることが求められており、保育サービスの担い手を確保するためにも、国の保育士配置基準の見直しにより保育士の増員を行うことが必要である。

よって、つくばみらい市議会は、国会及び政府に対し、保育士の配置基準を見直すとともに、必要な財源を十分に確保するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月20日

衆議院議長	細田 博之 様	参議院議長	尾辻 秀久 様
内閣総理大臣	岸田 文雄 様	財務大臣	鈴木 俊一 様
厚生労働大臣	加藤 勝信 様	内閣府特命担当大臣 (少子化対策)	小倉 将信 様

茨城県つくばみらい市議会

Pick up2

同意第1号 副市長の選任について

人事紹介について

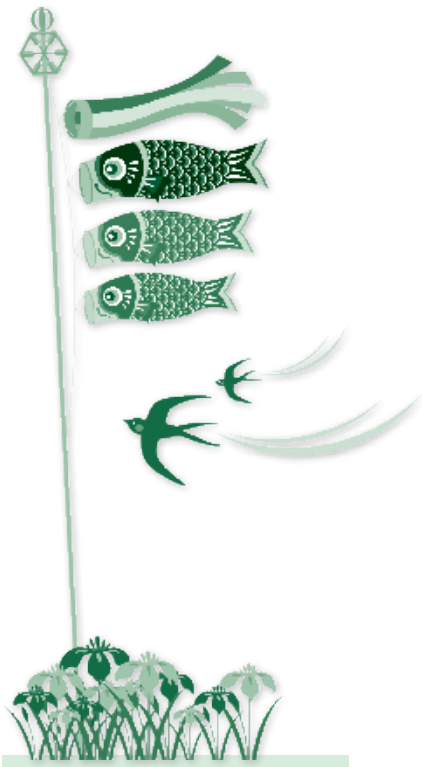
令和5年3月31日任期満了に伴う副市長の選任について、地方自治法の規定により議会の同意を求められ、次の方の選任に全員賛成で同意しました。

東茨城郡茨城町

渡邊 わたなべ

千明 ちあき

(再任)



Pick up3

議案第11号 つくばみらい市教育支援センター条例の一部を改正する条例

「教育支援センター」を「総合教育支援センター」に改めます

つくばみらい市学校教育改革プラン（※）に基づき、不登校やいじめに関する相談及び支援の充実を図るため、条例の一部を改正します。

【改正点①】不登校やいじめに関する相談及び支援体制を整備することにより、学校・関係機関が一体となり、総合的な支援体制を確保するため、「教育支援センター」を「総合教育支援センター」に改める。

【改正点②】今後の事業の実施場所は、十和小学校跡地を利用する計画のため、位置を「つくばみらい市長沼1250番地」に改める。

【施行期日】 令和5年10月1日

※令和5年度学校教育改革プラン

総合教育支援センターの開設

○児童生徒の活動の充実と心の居場所づくり

・ 適応支援教室「なのはな」の活動スペースの拡充

○学校・家庭・関係機関との連携

・ アウトリーチ型の家庭訪問、学校訪問

・ 特別支援教育の充実

・ いじめ問題及びその対策に関する支援

・ 多様な教育相談への対応

令和5年第1回臨時会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
議案第1号	令和4年度つくばみらい市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第2号	令和4年度つくばみらい市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決

令和5年第1回定例会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
報告第1号	専決処分の報告について(第1号)	報告
同意第1号	副市長の選任について	同意
議案第3号	第2次つくばみらい市総合計画基本構想	原案可決
議案第4号	つくばみらい市個人情報の保護に関する法律施行条例	原案可決
議案第5号	つくばみらい市産米の消費拡大に関する条例	原案可決
議案第6号	行政組織の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第7号	つくばみらい市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	つくばみらい市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	つくばみらい市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	つくばみらい市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	つくばみらい市教育支援センター条例の一部を改正する条例	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第 12 号	つくばみらい市運動公園等条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 13 号	つくばみらい市立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 14 号	つくばみらい市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 15 号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第 16 号	市道路線の変更について	原案可決
議案第 17 号	市道路線の認定について	原案可決
議案第 18 号	令和 4 年度つくばみらい市一般会計補正予算（第 1 1 号）	原案可決
議案第 19 号	令和 4 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 20 号	令和 4 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 21 号	令和 4 年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 22 号	令和 4 年度つくばみらい市下水道事業会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 23 号	令和 5 年度つくばみらい市一般会計予算	原案可決
議案第 24 号	令和 5 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第 25 号	令和 5 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第 26 号	令和 5 年度つくばみらい市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第 27 号	令和 5 年度つくばみらい市水道事業会計予算	原案可決
議案第 28 号	令和 5 年度つくばみらい市下水道事業会計予算	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第 29 号	令和 4 年度つくばみらい市一般会計補正予算 (第 1 2 号)	原案可決
議案第 30 号	令和 5 年度つくばみらい市一般会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
発議第 1 号	つくばみらい市議会の個人情報の保護に関する条例	原案可決
発議第 2 号	保育士の配置基準の見直しを国に求める意見書	原案可決

番号	陳情名	結果
陳情第 8 号	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	全議員及び執行部に配布



議案質疑

第 1 回定例会

議案第 4 号……………



つくばみらい市個人情報の保護に関する法律施行条例

【質疑者】

古川よし枝議員

討論

第 1 回定例会

議案第 4 号……………



つくばみらい市個人情報の保護に関する法律施行条例

【賛成討論】

守谷智明議員

議案第 23 号……………



令和 5 年度つくばみらい市一般会計予算

【反対討論】

間宮美知子議員

【賛成討論】

鐘ヶ江礼生奈議員

【賛成討論】

岡本昌弘議員

議案第 25 号……………



令和 5 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計予算

【反対討論】

古川よし枝議員

【賛成討論】

守谷智明議員

聴きたい 知りたい 市政

一般質問
(要旨)

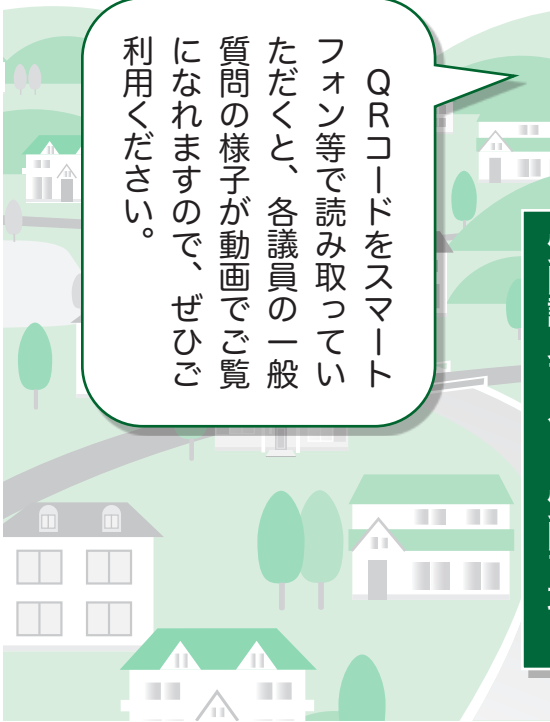
一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？
質問は、議員本人が概ね200字を目安に要約しています。

質問議員11人

質問17項目

QRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、各議員の一般質問の様子が動画でご覧になれますので、ぜひご利用ください。



水田活用交付金の交付条件変更について



● 間宮美知子議員

麦や大豆等への転作を進めるために、水田活用交付金が支払われていたが、今後5年間で一度も水張りがなければ交付金は支給しないと農水省が決め、地域の農業者から心配の声が上がっている。日本の食料自給率は37%に落ち込み、地球温暖化や肥料の高騰等で、農家は苦しんでいる。大半が65歳以上の人でかろうじて支えている農業を、これ以上の収入減や、広大な耕作放棄地の発生等で更に苦しめることがないような農業施策を望む。

に近づくにつれ、水張りを行わない農地が交付対象とされない等、農業収入の減少による経営不安が生じる等の懸念材料が払拭できないと考えている。

市としては、市内農業者に対して大きな影響が生じないように、国の動向を注視しながら情報収集し、農業者への周知も含め耕作放棄地の防止対策に取り組んでいく。

また、魅力ある農業をつくることが重要であると捉え「みらい型農業」の推進に取り組んでおり、今後も農業者に寄り添った支援策を行い、次世代へ繋がる持続可能な農業を推進する。

● 市民経済部長

国が制度化した水田活用の直接支払交付金の条件変更により将来的に耕作放棄地が生じる心配については、現状市内の農業者等からの意見などはないが、令和9年度





不登校の児童生徒への支援について



鐘ヶ江 礼生奈

●鐘ヶ江礼生奈議員

不登校児童生徒数が過去最多となっている。その理由は様々だが、本市での現状と対応、及び、進学進路について伺う。また、自宅からオンラインでの授業参加や民間フリースクールに通う児童生徒の出席扱いについて、及び、保護者との連携と相談支援について伺う。

また、教育支援センターの今後の方針と官民連携した支援体制について、及び、登校しても教室へ入れない児童生徒への支援として校内フリースクール設置の考え方を伺う。

●教育部長

不登校児童生徒数は1月現在小中学校合わせて166人である。学校や「なのはな」で個に応じた支援を行い、県立高等学校等に進

む生徒もいる。自宅で受けるオンライン授業は、一定要件を満たせば出席扱いにしている。

こども課と連携し、保護者の悩みに寄り添う支援をしている。

●教育長

学校に通えない子ども達が自分のペースで学習できる場として、総合教育支援センターを設置予定で、専門的な見地から個に対応した指導等を行うほか、児童生徒と保護者により近い学校と密に連絡を取り、支援を行う。

NPO法人等とは児童生徒の状況を踏まえ双方に充実感等の持てる交流を検討したい。

校内フリースクールは伊奈中学校にあり、全中学校に設置の検討をしている。



みらい平地区新設中学校建設事業の進捗状況、既存中学校との関わり及び今後の学区編成等について



今川 英明

●今川英明議員

みらい平地区の新設中学校について、令和5年に基本設計及び実施計画を行い、令和9年開校に向けて取り組んでいるが、現在の状況を伺う。

事業に関してチェックをする専門職が必要と思うが、どの様に考えているのか。学区については審議会で検討することになると思うが慎重に願いたい。

また小絹中が廃校との噂話がある。当局はどの様に考えているか伺う。

●教育部長

現在、市内各中学校の教職員を交えたワークショップ等を開催し、

施設の配置計画等を作成している。

今年度中に基本設計業務を、来年度からは詳細な図面の作成等を行い、令和6年3月末までに実施設計業務を完了する予定である。当初のスケジュールどおり順調に進捗している。

また、一級建築士の資格を持ち実務経験もある職員や建設工事等の経験が豊富な職員を配置し、設計協議等をスムーズに行っている。

●市長

小絹中学校の廃校の噂は、全く根拠のない間違った情報である。

小絹中学校については、まちづくりの一環として考え、より良い学校づくりに取り組んでいく。



ドライブレコーダー設置について



染谷 礼子

●染谷礼子議員

ドライブレコーダーは事故の証拠やあり運転の記録として活用でき、事故後の手続きをスムーズに行う効果もあり、公用車への設置は急務である。

また高齢者は動体視力低下や複数の情報を同時に処理する事が苦手になり、ハンドル操作やブレーキ操作に遅れが生じ、重大事故を引き起こす事もあるが、ドライブレコーダーは自分の運転癖を客観的に認識することもできる。

市民の安全安心確保のためドライブレコーダー設置費補助をしてはどうか。

●総務部長

ドライブレコーダーは、事故の発生状況の明確化や職員の安全運転意識と運転マナーの向上が期待

されるほか、ドライブレコーダーを設置した公用車が市内を走行することで防犯カメラの役割も担うことができるものと考えている。

このため市では、令和元年度から公用車への設置を順次進めている。令和5年2月末時点で公用車125台のうち50台に設置しており、全ての公用車への設置を目指し、引き続き進めていく。

ドライブレコーダー設置費の補助については、現在行っている高齢者安全運転支援装置の補助内容を拡充することも含め、先進自治体の取組を参考に前向きに検討していく。

(掲載以外の質問事項)

☆障がい者自動車運転免許取得費補助制度の拡充について



小中学校の太陽光発電設備の在り方及びガイドラインについて



中山 治

●中山治議員

以前の質問で、小中学校の太陽光発電設備のパワコンが故障し、5校が停止中について、修繕に慎重な対応を検討との答弁があった。

しかし、多額の税を費やし施設を構築したにも関わらず、20年間とは、十分発電していける施設を利用しないでいることに違和感を覚える。

つくば市では、修繕して有効利用している。この現実を捉え、電気代の高騰、脱炭素や安全安心を考えるとガイドライン含め、管理運営をどのように考えているのか伺う。

●教育部長

県は平成28年9月に太陽光発電施設の適正な設置管理に関するガイドラインを策定し、小中学校に太陽光発電設備を設置した当時は

設置に当たって指針となるような定めはなかったが、現在は当該ガイドラインに基づき、安全管理を行っている。また、学校管理責任者である学校長とも情報を共有し異常がないか等適正な管理に努めている。

来年度は、再生可能エネルギーの地産地消の取組として、公共施設等への設備の導入に係る調査費用を計上しており、教育委員会としても、市の取組を踏まえ設備の導入について検討していく。その際は今の設備を撤去し、現在の性能の優れた新たな太陽光発電設備の設置等も視野に入れて検討する必要があると考えている。

(掲載以外の質問事項)

☆市内太陽光発電設備の廃棄について



温水プールの建設について



中村 豊

●中村豊議員

市立小中学校のプールは、老朽化している所もある。今後の維持費や修理費用を考えると温水プールを建設し、通年でのプール授業が適していると思う。近隣市町村では、市民温水プール等で授業を行っている所が多い。つくば市の新設校では、主に学校が使用する温水プールを学校とは別の場所に建設予定である。さらに、牛久市では、学校単体で温水プールを建設した。本市においても市民温水プール等を建設すべきと考えるが、市の考えを伺う。

●教育部長

近年のスポーツに対する多様なニーズがある中で、本市でも様々なスポーツ施設の整備要望があることから魅力あるまちづくりをし、さらなる施設の充実化を図る

ため、令和5年度当初予算においてスポーツ基本計画を策定していきたいと考えている。その中で、温水プールかどうかは別として市民プールの建設についても検討し、水泳の授業で活用することも視野に入れていきたいが、市民プールの目的は市民のスポーツ需要や健康づくりに対応していくものであり、水泳の授業での活用についてはさらなる有効活用を図るための一方策であると考えている。

(掲載以外の質問事項)

☆部活動の地域移行について



地域公共交通計画について



守谷 智明

●守谷智明議員

本市では今年3月に新たに地域公共交通計画が策定される所であるが、コミュニティバスの増便やルート再編、病院バスのきぬ医師会病院への運行可能性など更なる改善について伺う。また、デマンド乗合タクシーの予約システムについて、現在利用者から予約が取りづらいと聞けるが、インターネット予約の導入の可能性について、さらに道路交通法改正後の電動キックボードの公道走行について、本市の対応を伺う。

●都市建設部長

コミュニティバスについては、公共交通アンケート調査等の結果を分析し、再編に向け検討している。バスの増車は難しいが、今ある台数でいかに効率的なルート・ダイヤを組むことができるか、ま

た、きぬ医師会病院への病院バスも直通運行に限定せず、コミュニティバスの経由も含め検討する。

デマンド乗合タクシーの予約については、インターネット予約の仕組みづくりをどのようにしていくか検討している。

電動キックボードについては、自動車等と接触するなど危険な点が考えられることから、法改正など国の動向を注視しながら利用者の安全運転啓発だけでなく、市民に対しても新たな移動手段が加わる点や、走行に関する危険性等についても周知する。





小絹地域のまちづくりについて



小林 芳子

●小林芳子議員

小絹地域のまちづくりについては、市の都市計画マスタープランの将来像では『豊かな暮らしの中に活力と賑わいが交差するみらいの地域』とあるが、少子高齢化で人口が減少傾向にある中、小絹地域のまちづくりをどのように考えているのか伺う。小絹小中学校の存続を心配している方が多いが、市ではどのように考えているのか、また、地域の防犯対策についても伺う。

●都市建設部長

市は少子高齢化に対応するため、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者や子育て世代が安心して暮らせるよう、令和2年3月に立地適正化計画を策定し、地域公共交通と連携したまちづくり

を進めている。

小絹小中学校を含む5校をまちづくりに係る重要な都市施設として、将来にわたり維持していくものとして都市計画決定した。引き続き、みらいにつながる好循環なまちを目指していく。

●市長

小絹小中学校を廃校にする考えはない。学校の統合や廃校は重要な問題であり、議会で審議されるものである。今後もしっかりとした情報発信を行っていく。

●総務部長

防犯対策は、地域と連携し対策にあたっている。今後も連携し進めていく。

(掲載以外の質問事項)

☆難病患者への支援について



学校給食無償化について



岡本 昌弘

●岡本昌弘議員

子どもを育てることは、未来の日本を支える人材を育てることであり、社会全体で支えていく必要があると考える。子どもや若者世代に対する未来への投資は、人口減少を食い止めると同時に、社会保障の担い手を増やすことにほかならない。子育ての負担、教育に対する負担が過重にならないためにも、市内小中学校の給食費の無償化を進めるべきと考えるが、市の考えを伺う。

●市長

学校給食費の無償化については、子育て支援の一つであり、義務教育にかかる費用は親の所得に関係なく、無償であることが理想であると考えている。

しかし、本市の学校給食の食材費は約2億7千万円という大きな

金額が必要となり、すべてを一般

財源に求めることは負担が大きく、すぐに給食費を完全無償化とするためには多くの課題があることから、義務教育費国庫負担や、地方交付税制度などの地方財政制度を見直していくことも必要不可欠であると考えている。

子育て世代の負担を軽減し、子育てしやすいまちづくりの施策の一つとして、今、何が出来るのか、段階的な取り組みも含め、引き続き検討し、これからも理想を追い求めていく考えである。

(掲載以外の質問事項)

☆エンディングプラン・サポート事業について





中学校校則について



古川 よし枝

●古川よし枝議員

中学校の校則は髪型や眉を整えること等身体に関わることや身に着ける物のカラーの規則等、大人の感覚の「中学生らしい」というくくりで規則にしてはいないか。昨年の改定版「生徒指導提要」に、子どもの意見表明を明記している子どもの権利条約の理念が盛り込まれた。また、校則について合理的・教育的根拠を説明できないものはルール化すべきではないとしている。再度、生徒指導提要に基づき校則・運用の見直しをすべきではないか。

ないか、また、本当に必要なものが見直しを行っている。

さらに、校則によって不要に行動が制限されるなど、マイナスの影響を受けている児童生徒がいなか、いる場合にはどのような点に配慮が必要であるか検討している。

学校での環境が、児童生徒にとっ て安心して楽しく通える魅力あるものとなるよう、教育委員会は今後も各学校への指導助言に努めていく。

(掲載以外の質問事項)

☆生活保護行政について

●教育部長

現在、各学校においては、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえ、校則について改めて学校の教育目的に照らして適切な内容が、現状に合う内容に変更する必要があるか。



つくばみらい市の食育の現状について



直井 高宏

●直井高宏議員

食育の推進は国の重要施策であり、経験を通じ食に関する知識とバランスのよい食を選択する力と身につけ、健全な食生活を育み、規則正しくバランスの取れた食事を摂ることが大切である。市では、食育基本計画を策定しているが、食育推進の状況を伺う。

財源の確保という課題はあるが、できれば学校給食の無償化に向けての積極的な調査、研究を進めていただくとともに、今後ますますの食育推進を図ることを要望する。

●保健福祉部長

市内生産者協力のもと市内農産物に特化した料理教室、日本最大の料理レシピサイトで市管理栄養士考案の100件超のレシピ紹介、「あさのいち」での朝食アンケートなど、様々な場面で幅広い市民に

積極的に食育を啓発している。今後も、関係機関や地域と連携し一層の食育推進に努めていく。

●教育部長

学校給食センターでは、市内各学校を計画的に訪問し、食に関心を持ってもらおうよう努めている。各学校においては、食に関する指導の全体計画を作成し、学校と家庭、地域が連携した横断的な食育が展開されている。引き続き子どもたちの食育の推進に力を入れていく。



令和5年 第2回定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
			本会議 (開会)	休会	休会	休会
4	5	6	7	8	9	10
休会	本会議 (一般質問)			総務常任 委員会	教育民生 常任委員会	休会
11	12	13	14	15	16	17
休会	経済常任 委員会	補正予算 特別委員会	休会	休会	本会議 (閉会)	
18	19	20	21	22	23	24

※日程等については、変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

ご意見ご感想をお寄せください！

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



つくばみらい市
イメージキャラクター
「みらいりんぞう」

◆ 本会議ライブ配信・録画配信 ◆

本会議の様様をインターネットを通して、ご自宅・外出先等からYouTubeのライブ映像をご視聴できます。

また、つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。



◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎、谷和原庁舎及びみらい平市民センターのロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。



◆ 音声による議会だより ◆

ホームページでは音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口にも目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。



◆ 市議会の傍聴について ◆

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢を記入していただくことで、傍聴席に入場できます。

議場の構造上、議会映像配信（ライブ配信・録画配信）において、傍聴席が映り込む可能性があります。ご了承ください。

傍聴者の守るべき事項があります。
詳細は議会事務局にお問い合わせ
願います。



● 感染症対策のお願い ●

本会議・委員会を傍聴される際には、次のとおりご協力をお願いします。

1. 傍聴受付前に設置している消毒液で手指の消毒をお願いします。
2. 当日の朝にご自宅で検温し、高熱のある場合や体調不良（だるい・咳が出るなど）の場合は傍聴の自粛をお願いします。

マスクの着用は、「個人の判断」が基本となります。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないように、ご理解・ご協力をお願いします。



発行：つくばみらい市議会 編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL：0297-58-2111(代表) FAX：0297-20-5760
URL：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp E-mail：gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp